



いずみ

令和6年1月31日発行

<学校教育目標>
かしこい子
やさしい子
たくましい子

学校HP



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

「やってみたい」から「やってみよう」へ

教務主幹 堀口 剛

三学期が始まったと思ったのも束の間、学年のまとめに向かう時期となりました。子供たちの登校日数は残り35日です。教職員一同、一日一日を大切にしながら指導に努めて参ります。

さて、現在私は教務主任を2年間務めさせていただいております。教務主任とは、教育活動が円滑に進むように計画を立て、学校全体を見て遂行するとともに学校の課題を発見し改善していく役目を担っています。そのため、子供たち、教職員、学校全体の変容を和泉小学校の誰よりも感じることが出来る立場です。

今年度は、子供たちの「主体性の高まり」「自治意識の高まり」を感じます。自分達でやってみようという思いをもつ子供たちは以前からもいましたが、なかなか行動に移す場面は多くありませんでした。しかし、今年度は「やってみたい」から「やってみよう」へと変わっていく場面が数多く見られるようになってきました。6年生が子供祭りをやりたいという思いから計画を立て、私の前でプレゼンをしました。全校での開催は難しいことが分かると、計画を修正し1年生と6年生で異学年子供祭りを実施することにして計画を進めています。5年生は遠足の場所を自分達で考え、上野動物園に行ってきました。また、運動会や学習発表会などの学校行事では、各委員会で何が出来るかを考えて活動することができました。与えられた活動だけではなく、学校のために何が出来るかを考えて学校行事に臨んでいました。誰かに言われてではなく、自ら行動ができる高学年に成長していることに頼もしさを感じます。また、その姿を見ている中低学年の子供たちにはよい手本であり、よい刺激となっています。

ちょうど一年前の学校だよりで「和泉小は、よりよい自分、よりよい学級、よりよい学校を自分たちで作る、そんな活気溢れる学校を目指しています。」と書かせていただきました。1年たった今もそれは変わりません。学校評価アンケート（児童対象）結果からも学校全体で子供たちの自治的な意識が変化してきていることが分かりました。教職員一丸となって目指してきたことが芽吹いてきたように感じます。子供たちの変化が見られている今、自分たちの活動が学校全体にどのような影響を与えているのかを実感できる、自分たちが学校を動かしているという意識がより高まるように価値付けをしていきます。

自治意識の高まりとともに、よりよい自分を目指そうと大きく変わりはじめた子供たちのさらなる成長のために、私たちは保護者、地域の皆様と課題や教育ビジョンを共有して一体となり、子供たちを育てていきます。今後とも本校の学校教育へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

2月の生活目標

寒さに負けない体をつくろう

- 友達と誘い合ってなかよく遊ぶ。
- めあてを決めて運動をする。

2月の安全指導

遊びのきまり

- 外遊びや教室遊びのきまりについて再度話し合い、全校児童が安全に楽しく過ごせる休み時間を子供たちと作っていきます。